

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年9月4日 (2014.9.4)

【公開番号】特開2014-39330(P2014-39330A)
 【公開日】平成26年2月27日 (2014.2.27)
 【年通号数】公開・登録公報2014-011
 【出願番号】特願2013-232636(P2013-232636)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月16日 (2014.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

テレビ通話機能付きの携帯型電話等用端末であって、
 少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、
 少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、
 前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部又はその近傍の第 1 位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持しているとき前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して所定の位置に保持する表示側筐体用支持部と、
 を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付きの携帯型電話等用端末。

【請求項 2】

手に持つか衣服のポケットなどに収納することにより携帯可能な、テレビ通話機能付き携帯電話機であって、

少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、

少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、

前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部又はその近傍の第 1 位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持しているとき前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して所定の位置に保持する表示側筐体用支持部であって、「テレビ通話の際に行われるユーザーの動作」により又は「テレビ通話の際に行われるユーザーの操作」により自動的に、前記表示側筐体が、前記撮像部が「テレビ通話のために相手方に送信するユーザーの顔」をその鼻の穴がより目立たない位置又は角度から撮像するように、前記第 1 位置から「前記表示側筐体が、前記操作側筐体から分離されて、前記操作側筐体の上端部から所定の距離だけ、ユーザーから見て上方向に離れている、第 2 位置」に移動されたとき、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して前記第 2 位置に保持する、表示側筐体用支持部と
 、

を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯電話機。

【請求項 3】

手に持つか衣服のポケットなどに収納することにより携帯可能な、テレビ通話機能付き携帯電話機であって、

少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、

少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、

前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第 1 位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

テレビ通話の際に前記撮像部が「テレビ通話のために相手方に送信するユーザーの顔」をその鼻の穴がより目立たない位置又は角度から撮像するように、前記表示側筐体を前記第 1 位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離されてその上端部から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れている第 2 位置」へ移動可能とすると共に、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第 2 位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する、表示側筐体用支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯電話機。

【請求項 4】

手に持つか衣服のポケットなどに収納することにより携帯可能な、テレビ通話機能付き携帯電話機であって、

少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、

少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、

前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部又はその近傍の第 1 位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持しているとき前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して所定の位置に保持する表示側筐体用支持部であって、「テレビ通話の際に行われるユーザーの動作」により又は「テレビ通話の際に行われるユーザーの操作」により自動的に、前記表示側筐体が、前記撮像部が「テレビ通話のために相手方に送信するユーザーの顔」をその鼻の穴がより目立たない位置又は角度から撮像するように、前記第 1 位置から「前記表示側筐体が、前記操作側筐体から分離されて、前記操作側筐体の上端部から所定の距離だけ、ユーザーから見て上方向に離れている、第 2 位置」に移動されたとき、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して前記第 2 位置に保持する、表示側筐体用支持部と
、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯電話機。

【請求項 5】

手に持つか衣服のポケットなどに収納することにより携帯可能な、テレビ通話機能付き携帯電話機であって、

少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、

少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、

前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第 1 位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

テレビ通話の際に前記撮像部が「テレビ通話のために相手方に送信するユーザーの顔」をその鼻の穴がより目立たない位置又は角度から撮像するように、前記表示側筐体を前記第 1 位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離されてその上端部から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れている第 2 位置」へ移動可能とすると共に、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第 2 位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する、表示側筐体用支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯電話機。

【請求項 6】

手に持つか衣服のポケットなどに収納することにより携帯可能な、テレビ通話機能付き携帯電話機であって、

少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、

少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、

前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部又はその近傍の第1位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持しているとき前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して所定の位置に保持する表示側筐体用支持部であって、「テレビ通話の際に行われるユーザーの動作」により又は「テレビ通話の際に行われるユーザーの操作」により自動的に、前記表示側筐体が、前記撮像部が「テレビ通話のために相手方に送信するユーザーの顔」をその鼻の穴がより目立たない位置又は角度から撮像するように、前記第1位置から「前記表示側筐体が、前記操作側筐体から分離されて、前記操作側筐体の上端部から所定の距離だけ、ユーザーから見て上方向に離れている、第2位置」に移動されたとき、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して前記第2位置に保持する、表示側筐体用支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯電話機。

【請求項7】

手に持つか衣服のポケットなどに収納することにより携帯可能な、テレビ通話機能付き携帯電話機であって、

少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、

少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、

前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第1位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

テレビ通話の際に前記撮像部が「テレビ通話のために相手方に送信するユーザーの顔」をその鼻の穴がより目立たない位置又は角度から撮像するように、前記表示側筐体を前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離されてその上端部から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れている第2位置」へ移動可能とすると共に、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第2位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する、表示側筐体用支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯電話機。

【請求項8】

手に持つか衣服のポケットなどに収納することにより携帯可能な、テレビ通話機能付き携帯電話機であって、

少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、

少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、

前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部又はその近傍の第1位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持しているとき前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して所定の位置に保持する表示側筐体用支持部であって、「テレビ通話の際に行われるユーザーの動作」により又は「テレビ通話の際に行われるユーザーの操作」により自動的に、前記表示側筐体が、前記撮像部が「テレビ通話のために相手方に送信するユーザーの顔」をその鼻の穴がより目立たない位置又は角度から撮像するように、前記第1位置から「前記表示側筐体が、前記操作側筐体から分離されて、前記操作側筐体の上端部から所定の距離だけ、ユーザーから見て上方向に離れている、第2位置」に移動されたとき、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して前記第2位置に保持する、表示側筐体用支持部と
、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯電話機。

【請求項9】

手に持つか衣服のポケットなどに収納することにより携帯可能な、テレビ通話機能付き

携帯電話機であって、

少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、

少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、

前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第１位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

テレビ通話の際に前記撮像部が「テレビ通話のために相手方に送信するユーザーの顔」をその鼻の穴がより目立たない位置又は角度から撮像するように、前記表示側筐体を前記第１位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離されてその上端部から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れている第２位置」へ移動可能とすると共に、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第２位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する、表示側筐体用支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯電話機。

【請求項１０】

手に持つか衣服のポケットなどに収納することにより携帯可能な、テレビ通話機能付き携帯電話機であって、

少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、

少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、

前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部又はその近傍の第１位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持しているとき前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して所定の位置に保持する表示側筐体用支持部であって、「テレビ通話の際に行われるユーザーの動作」により又は「テレビ通話の際に行われるユーザーの操作」により自動的に、前記表示側筐体が、前記撮像部が「テレビ通話のために相手方に送信するユーザーの顔」をその鼻の穴がより目立たない位置又は角度から撮像するように、前記第１位置から「前記表示側筐体が、前記操作側筐体から分離されて、前記操作側筐体の上端部から所定の距離だけ、ユーザーから見て上方向に離れている、第２位置」に移動されたとき、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して前記第２位置に保持する、表示側筐体用支持部と

、

を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯電話機。

【請求項１１】

手に持つか衣服のポケットなどに収納することにより携帯可能な、テレビ通話機能付き携帯電話機であって、

少なくとも、操作部が備えられている、操作側筐体と、

少なくとも、撮像部及び表示部が備えられている、表示側筐体と、

前記表示側筐体と前記操作側筐体とを、前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第１位置」に位置するように、且つ前記表示側筐体と前記操作側筐体とが互いに分離可能に、接続する、接続部と、

テレビ通話の際に前記撮像部が「テレビ通話のために相手方に送信するユーザーの顔」をその鼻の穴がより目立たない位置又は角度から撮像するように、前記表示側筐体を前記第１位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離されてその上端部から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れている第２位置」へ移動可能とすると共に、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第２位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する、表示側筐体用支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯電話機。